



きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

交通安全

旭町小学校長 道山 正史

音楽会には大勢の方々にお越しいただき、またたくさんの拍手をいただき、誠にありがとうございました。今でも子供たちの必死の形相が目には浮かびます。そしてここに至るまでの子供たちの頑張りに敬意を表したいと思ひますし、また誇りに思ひます。

さて、陰暦12月を「師走」といいますが、これは「師馳せ月」（しはせづき）から派生したもので、「師」とは「僧」であり、「師匠の僧がお経をあげるために東西を馳せる月」と解釈するのが最も有力なものと言われています。また、そこから派生して「師」を「教師」の意味にとり、「学校の先生も忙しくて走り回る月」なのだと言って下さる方もいます。もっとも、最近の教師は12月ばかりでなく1年中忙しい感もありますが、来年度から予定している3学期制になると、更に12月は忙しさを増すことでしょう。

しかし、私は忙しい時ほど、急いでいる時ほど、落ち着いて考え行動することがとても大切であると日頃から職員や子供たちに話しています。その最大の理由は事故の防止です。「忙しい、忙しい。」と言ひながら、また、「早く、早く。」と焦らせながら物事をやっけて好ましい結果を得ることはまれです。これは行事や学習に関わることだけでなく、日頃の生活でも大切なことです。世の中がせわしくなるこの「師走」は交通事故も多く起きます。「師走」の、特に商用車のドライバーの方は、何とか約束の時間までに間に合わせなくてはと思ひながら運転しています。また、冬休みに帰省や旅行などで慣れない道や凍った道を運転しなければならないドライバーの方もいます。いずれも気が急いでいることでしょう。いまや安全が普通ではないのです。こういう時に、走っているにしても、自転車に乗っているにしても、飛び出すことが極めて危険な行為であるということは自明の理です。どうかご家庭におかれましては、交通安全について、そして日頃から落ち着いて行動することの大切さについて繰り返しお話しただけると幸いです。

11月26日、光が丘警察署において、旭町小学校PTAが、日頃の児童への交通安全に対する取り組みに対して感謝状をいただきました。これは、PTAはもちろん、地域の方々や駐在所などが協力して交通安全に取り組んできたことに対する表彰であると思ひます。これを機会にさらに安全に対する意識を高め、今後とも事故のない地域にして参りましょう。

この1年の皆様の子供たち、学校に対するご理解、ご協力に感謝申し上げます。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。